書籍 丹羽耕三博士のから学ぶ

丹羽耕三博士が提唱する丹羽式免疫療法とは、いくつかの特徴的な、そして私たちが今まで知らされてきた常識とは違う指導法が含まれています。今回は、丹羽耕三博士の著書の中から、食事に関する考え方の基本を書かれたものの一部をご紹介します。
丹羽式免疫療法の基本は SOD 様作用物質ですから、健康な人が病気に罹りにくい身体をつくるためにも、すでに何らかの健康トラブルを抱えている人も、まずは、SOD 様食品を食べることから始めます。
その上で、食事の内容そのものが病気を引き起こすことを知り、丹羽式免疫療法による正しい食生活を心がけることが大切です。
今号にご紹介している文章は、丹羽博士の著書**「活性酸素で死なないための食事学」より抜粋**したものです。この本は残念ながら絶版になってしまいましたが、博士の著書の中では人気の本です。本紙を通して少しずつご紹介して参りたいと思います。

過剰な活性酸素を取り除く抗酸化剤の驚異

酵素の意味を正しく理解してください

分子量の大きい生き物である酵素の中で、活性酸素を強力に低下させるものがあり、これらを高分子抗酸化剤と呼びます。高分子抗酸化剤とは、分子量が 3 万以上で、腸より吸収されず、熱を加えれば死滅し、生で食べても胃袋を通過すると pHI の強力な胃液（塩酸）にあって失活します。活性酸素を除去する SOD でもカタラーゼでも、酵素である限り経口摂取した場合、その効果はゼロになっています。（中略）口から摂取する（健康）食品として氾濫している酵素類のナンセンスさに、読者の皆さんは科学的な目を持って対処してください。
（中略）

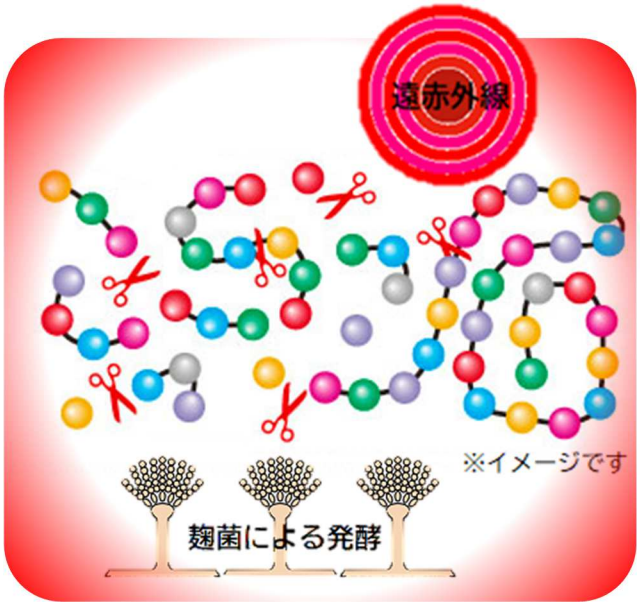
丹羽耕三博士プロフィール

昭和7年大阪生まれ
昭和37年京都大学医学部卒業
京都大学医学博士
土佐丹羽クリニック院長
丹羽免疫研究所所長
令和4年没（享年89歳）

活性酸素と SOD 研究の世界的権威。
国際医学雑誌に発表された英文研究論文は 70 編を超す。
西洋医学の限界を知り、自然の植物・穀物から独自の生薬を開発し、全国の診療所でがんや膠原病、リウマチ、アトピーなどに大きな治療効果を上げきた。
多くの臨床例に裏付けられたユニークな講演には定評があり、学会の座長および招待講演活動が多い。
また、複数の著名な国際医学雑誌への投稿論文の審査員を30年以上務めた。

天然の穀物・種子は焙煎、発酵、油剤化で日常のクスリになる

“製薬会社から購入してきたビタミン剤やフラボノイドなどの抗酸化剤が、試験管の中ではものの見事に活性酸素を落とすのに、何故人間が口から摂取したときに効果がほとんどないのだろう”という問題にぶつかりました。一方で、大豆、胡麻、ハトムギ、糠、緑葉物質、ゆず汁などを特殊な加熱遠赤外線焙煎法と、麹による発酵法を加え、それを焙煎胡麻油に浸して完成したクスリ（あるいは SOD 様作用食品）は、多くの炎症患者や難病・奇病の患者に使用して数々の優れた効果を表しました。



何故、天然の低分子抗酸化剤は、そのまま食して効果がないか

自然の穀物、植物種子のなかの低分子抗酸化物質は生の状態ではお互いに手をつないで連結し合っているために（この状態を重合という）一つ一つの物質が自由に動けず、その力を発揮できない状態にあることが発見されたのです。

そこで私は、花崗岩からできた石、土などを用いて造った陶器の容器に、これらの大豆、胡麻、胚芽などの原料をいれて焙煎し、波長が 4～14 ミクロンの自然の遠赤外線を大量に発生させ、95℃の温度で長時間かけてゆっくり加熱したのです。

この方法で、低分子抗酸化物質の重合が切断されたことが研究室で確認されました。

さらに、こうじ菌を加えて発酵させると蛋白、澱粉分解酵素（プロテアーゼやアミラーゼ）で分解して、重合の鎖を切ってくれるのです。

低分子活性化物質の手のつながりが十分切断されたところで、活性酸素やその類似物質過酸化脂質が悪さをしている細胞内に到達するよう、焙煎胡麻油で被ったのです。

このようにして日常、全ての人々が常食している大豆、胚芽、胡麻、ハトムギ、糠のような、何でもない食べ物の原料が私自身でもビックリするような効果のある素晴らしい“クスリ”“健康食品”になってしまったのです。

編集後記

最近、予防医療から見た食についての講演をする機会が増えてきました。かつて「丹羽博士の健康講座」と題した講演会に、アシスタント兼司会役としてお手伝いさせていただき、3時間講演の内容を覚えてしまうくらい、繰り返し学ぶことができました。今回お伝えした、低分子抗酸化剤が有効に力を発揮できる加工法についてのくだりは、SOD様作用食品がなぜ一般的な健康食品と違うのか、最重要であり腑に落ちる部分です。「玄米食を科学する」という表現をされていたことも、懐かしく思い出しました。変化する時代に、変わらぬ信頼と安心を皆様にお届けしたいと心がけています。
前田美恵子【35 年に亘り、免疫療法の権威丹羽耕三博士に師事して得た知識をもとに、全国で開催される健康セミナーの講師を務める】

編集/デザイン/発行　株式会社エーオーエーアオバ　東京都文京区目白台 3-4-11　TEL:03-5976-1411
令和6年2月1日発行　　会員勉強用資料　無料　　http://www.aoaaova.jp/